

1日目 9月15日

会 場： 県立浜山球場

第2試合		～1回戦～																	
TEAM		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
三刀屋		0	0	0	1	0	0	0	0	0							1	4	1
大 田		1	0	3	0	0	0	0	0	X							4	7	1
(投手-捕手)																			
・ (三)		矢田貝→三原→矢田貝 - 高橋駿																	
・ (大)		生越 - 水瀧																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (三)																			
・ (大)		畑野																	
(審判) [球審]		本田			〔一塁〕 清水繁				〔二塁〕 川島				〔三塁〕 田平						
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(三)	33	4	1	0	0	0	7	3	2	2		1		1	2	0	0	0	
(大)	35	7	3	1	0	0	3	3	3	3		0		1	0	0	0	0	

「大田、エースの好投で三刀屋下す！」

大田と三刀屋の近年の夏でも上位に食い込む両校による注目のカードとなった。三刀屋は昨秋準優勝の立役者の三原は怪我の影響から先発を回避し、1年生から夏の経験を積んだ矢田貝に先発を託した。大田は1年生投手の生越が先発した。

試合は初回にいきなり動く。大田は1回裏に四球にバスターエンドランを絡めて無死満塁の好機を作ると、注目の畑野は矢田貝の直球に空振り三振を喫するが、直後に水瀧が中堅手への犠飛を放ち先制した。しかし、後続は矢田貝が断ち最初失点に切り抜けた。

3回裏には1死2・3塁から水瀧のゴロを三塁手が迷った末に本塁へ送球するも野選となり大田が追加点を挙げる。更に2死1・3塁から1塁走者が盗塁を仕掛け、捕手が2塁へ転送する間に3塁走者が本塁を狙い生還した。そして安井の適時打で、3回に一挙3得点を挙げた。

対する三刀屋は4回に先頭打者が四球で出塁すると、送りバントとセフティーバントで1死1・3塁とし高橋駿の犠飛で1点を返した。その後は5・8回と得点圏に走者を進めたが、6回以降はギアを上げた生越に苦しみ4安打中セフティーバントが2本、内野安打1本と外野に飛んだ安打は僅か1本に抑えられ、反撃できなかった。

